

栽培のしおり

【ミツバ(せり科)】

香が高い葉茎と歯ざわりのよさが人気で、和食では多用されている日本産の野菜。
多年草だが、霜にあたると地上部が枯れ、夏の暑さでは不良になりやすいため、冬や夏は保温や遮光が必要になる。春と秋が育てやすい。

栽培時期

栽培のポイント

品 種

土壌酸性度

連作障害

有り(1～2年)

元 肥(1米当たり)

種 蒔

- 1) 列間15cm、深さ5cmのまき溝を、板切れなどを利用してつくる。
- 2) できるだけ重ならないように筋蒔きする。
- 3) 好光製なので、土は薄くかける。
- 4) 根ミツバの根株を再生させて、収穫することもできる。

発芽日数

間引き

- 1) 発芽したら込み合う部分から順次間引き、株間3cmで育てる。

追 肥

収 穫

- 1) 草丈20～25cmに生長したら、根元から切り取って収穫。
2～3cm残しておく、再生して長く楽しめる。

栽培実績

品 種(白茎みつば)

土作り(F-4区画)

10/06/04 酸性度ph6.5

06/07 堆肥、化成肥料

植付(F-4区画)

07/01 種蒔

07/11 発芽

08/11 間引き

09/04 プランターに移植

10/07 (C3区画)に移植

10/18 発育不良のため撤去

(プランター)

09/08 種蒔

09/17 発芽

11/10 発泡スチロールに移植